

古代中国の玉の世界 —その科学と文化—

鄧 淑蘋 監修
茅原 一也 編著

(平成 18 年 10 月 20 日)A5 判(244 頁)5,000 円

中国人は古代から玉を異常といえるほど愛好しました。それは宝玉や貴石ということではなく、深い宗教的・哲学的・道徳的意義を認めたことに深くかかわっていたのです。

本書は、約 7,000 年前に遡る新石器時代から石器(玉兵)より玉器に転化・発展し、現代に至っている玉文化について、その主要原石を供給した新疆産崑崙玉の由来、シルクロード(ジエードロード、玉の道)を通じて東へ運ばれた歴史、玉器の変遷、玉(ネフライト)産出の地質学的背景などについて述べたものであります。

第1章 世界のネフライト文化圏と中国の玉文化

1. 1 ヒスイ(硬玉)とネフライト(軟玉)
1. 2 世界の二大ヒスイ文化圏と一大ネフライト文化圏(玉文化圏)
1. 3 シルクロードとジエードロード

第2章 モンゴロイドとジエード

2. 1 新石器時代における玉文化 —玉器時代
2. 2 モンゴロイドとヒスイ・ネフライト

第3章 玉の定義と意義

3. 1 玉の定義
3. 2 中国における玉の意義
3. 3 玉と君子
3. 4 玉器の始まり —石器から玉器へ—
3. 5 身分の象徴としての玉器

第4章 中国考古学の進歩と玉文化の起源

4. 1 殷墟遺跡の発掘と出土玉器
4. 2 解放後における中国考古学の進歩
4. 3 新石器時代における玉の種類とその推定産地
4. 4 古代中国(新石器時代)における角閃玉の産地

第5章 中国古代玉器文化の特質

第6章 新石器時代から歴史時代へ

第7章 中国の玉の種類

7. 1 玉の種類
7. 2 硬玉(ヒスイ)

- 7.3 和田玉
- 7.4 代用玉
- 7.5 いわゆる蛇紋石玉について
- 7.6 その他の玉彫原料
- 7.7 台湾玉(豊田玉)
- 7.8 韓国, 春川のネフライト

第8章 崑崙山脈における玉の産状と開発

- 8.1 古代における玉の採取
- 8.2 清代～民国期における採鉱
- 8.3 1882～1932年のロシア人による探査
- 8.4 新中国での探査

第9章 和田玉, 碧玉, 金山玉の鉱物学的性質

- 9.1 和田玉と碧玉
- 9.2 軟玉の種類
- 9.3 軟玉の微細組織(質地)
- 9.4 電子顕微鏡観察
- 9.5 軟玉の粉末 X線分析
- 9.6 軟玉の化学成分
- 9.7 微量元素成分
- 9.8 軟玉の物理的性質

第10章 軟玉の新種－崑崙玉と蛇緑玉－

- 10.1 崑崙玉
- 10.2 蛇緑玉

第11章 玉器時代の編年と主要玉文化

第12章 古文書にみる崑崙の玉

- 11.1 神話・伝説世界における玉
- 11.2 「史記」に記述された崑崙の玉
- 11.3 「漢書」[西域伝]にみられる崑崙の玉
- 11.4 「北周書」巻五十, 異域伝一于?の記録
- 11.5 「五代史」巻七四, 四夷付録三, 于?の条
- 11.6 「重修政和經史証類備用本草」巻三, 玉石部上品の条
- 11.7 西域南道の国々と玉
- 11.8 月氏の玉
- 11.9 十世紀ごろの玉交易
- 11.10 完璧の故事－和氏の璧
- 11.11 新疆, 和田およびヤールカンドの玉

第13章 崑崙の玉とジェードロード(玉の道)

- 13.1 シルクロードとジェードロード
- 13.2 シルクロードとは
- 13.3 オアシス路の自然と文化交流
- 13.4 ステップロードにおけるスキタイと玉文化

第14章 玉の道

第15章 最近の和田の玉事情と中国産軟玉の価格・生産量

- 15.1 河床における玉の採取
- 15.2 崑崙山中での玉の採取
- 15.3 新疆軟玉の産出額
- 15.4 軟玉原料の工芸上の要求と原石価格

第16章 周以降における玉器の種類

- 16.1 禮器—六瑞と六器
- 16.2a 礼器
- 16.2b 符節器(天子の命を示す証拠品)
- 16.3 環状類玉器
- 16.4 裝飾器(佩飾器)
- 16.5 象嵌器(主として劍飾器)
- 16.6 葬祭器

第17章 新石器時代およびそれ以後の玉器芸術

- 17.1 旧石器時代(B.C. 18000～7000年)の文化
- 17.2 新石器時代文化の時代区分と地域性
- 17.3 新石器時代の玉文化の変遷
- 17.4 二里頭文化(B.C. 1800～1600)の玉
- 17.5 商(殷)代の玉文化
- 17.6 西周～近代における玉文化の変遷—新疆産和田玉と碧玉の開発利用に関連して

第18章 現在のホータンの玉事情

第19章 玉の採鉱と彫刻(雕琢)術

- 19.1 玉の採鉱
- 19.1 軟玉の工芸加工および代表的工芸品

資料

「古代中国の玉の世界—その科学と文化—」の刊行によせて

(新潟大学理学部長・教授) 周藤 賢治

(株式会社キタック社長) 中山 輝也